

建設ケースメソッドの普及について

1 広くPRしてください

2 参加を迷ったのですが、有意義な時間でした。まだまだケースメソッドを知らない方も多いと思われまますので、一層の普及活動を期待します。

3 認知度の向上が重要

4 引き続き活動が、幅広く展開されるようご尽力ください。特に、現在所属しています、建設コンサルタント業界の取り組みもお願いします。

5 建設ケースメソッドという言葉は今回初めて聞いたので引き続き、普及啓発に取り組んでいただければと思います。

建設ケースメソッドへの期待・要望

6 建設マネジメントは、時代の環境変化に伴い常に必要であり学会の今後の活動に期待します。

7 マネジメント力の強化はもっと組織的に取り組むべきと思います。カードゲームを用いたメーカーの取り組みなど、参考になりました。是非活用してみたいと思いました。

8 WEBで事例（動画）を交えた講習会を企画して欲しい。

9 担い手の確保と技術の伝承に有効であると感じた。今後も様々な実施事例を紹介していただきたい。

10 今回初めて建設マネジメント協会の活動を知った。今の時代には、必要な活動だと思う。各分野、職種にあった手法が確立されればは有益だ。プロマネ育成ゲームは施工会社編、コンサルタント編などがあれば良いと切望する。

11 以前、模擬授業を経験させて頂き、大変有意義な活動であると感じております。今後、同ケースメソッドを活用した建設マネジメント力の向上教育が一般化していくことを願っております。

12 建設ケースメソッドに関して：実際に起きた出来事を教材にして建設マネジメント力を向上させる方法は、土木学会の情報収集力を生かしていける良い方法だと思いますので、この取り組みに期待しています。

13 ケース事例構築と公開

14 今回の内容を録画されていたので、見れない箇所もあったので、アーカイブで配信してほしい。

15 業界に対して全方位的に周知、研修を行って欲しいです。実務者はこれらの取り組み、活動がある事を知らない技術者が多いと思います。

16 ホワイトカラーの生産性の向上に寄与する興味深い内容でした。ありがとうございます。音響のトラブルが多かったので、残念です。同じミスが何度も繰り返されてしまったり、ノイズの多いマイクを使い続けるなど、事前にチェックすれば解消できたのでは？と思うと残念な気持ちです。

17 パネルディスカッションでも明らかでしたが、人それぞれ、置かれている環境や立場によって目標とか考え方が異なります。その意味で、国内事業と海外事業のメリハリも意識してご活動を進められると分かり易く、または取っつき易くなるのではないのでしょうか？概して、修羅場に置かれる頻度及びそのシリアスさは海外事業の方が目立つのではないかと思料致します。

18 現場力、経験力へと昇華するための疑似体験となるケースメソッドを如何に創出するのか、ひろく認知させていくことを含め、大きな課題であると感じました。

公共工事に長く携わってきた土木技術者ですが、大勢の先輩や同僚と一喜一憂しながら仕事して来ました。その中で先輩の教えや行動から仕事の仕方を学んで来ました。時代が変わり土木の仕事を目指す若者も少ない中で、如何にして土木の仕事に興味を持つ若者を集め、技術力やマネジメント力を教えて、次世代に繋いで行くべきかが、私達にとって大切な課題だと考えます。施工者の立場にいますが、発注者やコンサルタント及び施工者に属する経験の浅い技術者の業務状況を見ていますと技術力・判断力・マネジメント力不足による諸問題の発生が多い様に思います。中小の企業では年間通して社内研修に割く時間も少なく技術の継承も不足な状況下では、技術者に必要な技術力やマネジメント力を養う場が少くないのが現状です。今回、聴講させて頂いた建設ケースメソッドの取組み（研修等の疑似体験授業内容）をビデオ化して、必要時に企業がオンデマンドで活用できるシステムにして頂くことで、少ない研修時間でも効率的な研修に活用できると考えます。是非ご検討をお願いいたします。

20 シンポジウムでは所属組織の研修の一環といった例が多かったが、資格試験の設問などでも運用することも考えられないか、多方面での運用に期待します。

21 業種によって求められるマネジメント力が違う部分があるように感じております。それぞれの業務毎で、具体的な事例などをご紹介いただきたいと思いました。また、大企業ではなく中小規模事業者の場合、マネジメント力育成の機会を作るのが難しいと感じます。そのような企業向けの育成の場を土木学会等が設けて下さると有用なのではと思いました。

シンポジウムお礼

22 大変勉強になりました。ありがとうございました。

23 興味深い内容でした。ありがとうございました。

24 開催ありがとうございました。hayano-t@sanyu-c.com

シンポジウム感想

25 大変良い活動だと思います。現場監督上がりの土木屋ですから、建設マネジメントは平成の頃からテーマとして勉強してきました。勉強になりました。

26 私自身、耳にしたことが無い「ケースメソッド」について、その一般論や特徴、その狙いが解りやすく説明され、大変参考となるシンポジウムであった。特に通常業務では経験する機会がないトラブルケースを疑似体験させる事により、普段では考えたことが無い観点で考察させ様々なリスクや対策を考える事に繋がる可能性について、大いに共感できるものであった。

27 いつもご苦勞様です。パネルディスカッションで難しい用語で分からないところがあったが、非常に勉強になったご意見も多かったので楽しく拝見させて頂きました。

28 当初ケーススタディと同等のものと思っていましたが、全く違い事例に止まらず、解決策へのアプローチ・考察やマネジメント力の育成、技術の伝承にまで及ぶのだと大変興味深く拝聴させて頂きました。

29 次回の講演聴講についても、参加したいと感じた。

30 建設マネジメント力の育成の肝は、「対応力」、「想像力」、「決断力」の3つの力を磨くことである。一般的な研修目的である知識を学ぶと違って、ケースメソッド研修の効果は、物の考え方や思考のプロセスを学ぶものである。NEXCOの研修では、気付きの発見や業務活用に対する意欲の向上効果があったとの報告があった。

31 いかにも望ましいケースを選択するかが鍵であり、選択手法のブラッシュアップが肝要ではないかと思えます。

32 大変有意義なシンポジウムに参加させて頂きありがとうございました。ケースメソッドの重要性を感じました。答えがない中で最適解を出すためのプロセスが学べになると思えます。人材育成に近道はないと思えますので長く継続していくことが重要であると感じました。

33 修羅場の厳しい環境を、どれだけ再現できるかが疑似体験を本物にするキーポイントと考えます。

- 34 修羅場の経験をケースメソッドとして取り上げるのは有効だが、成功例は個人の自慢話になりがちであるし、失敗例は公表しにくい、媒体で共有しにくいという特徴があり、いずれも適切な例を取り上げるのが難しい。数は少なくとも、適切な例を取り上げ、どうして修羅場になったのかを徹底的に分析し、二度とそういうことにならないようにするためにどうすべきかを議論する場を設けるのが大事ではないかと思います。
- 35 若手技術者の教育や指導に関しては非常に難しい状況にあると思います。単純にOJTのみでは全くチャンスが足りないと思います。ケースメソッドの手法は非常に有効だと思います。今後何とか取り入れて社員教育を実施していきたいと思います。
- 36 ある意味、公開できない情報で行うので、どこまでを公開して行っているのか、と思いました。社内ではOKでも、社外ではNGということもあるのでは。
- 37 建設ケースメソッドという言葉をよく知らず、確かに似たような事例を学習する研修は多々あったが、改めてこのような手法を企業内に取組みたいと思う。
- 38 様々な職種でなされているならば、そういうものも、参考にしたい。
- 39 建設マネジメントの中で土木が社会貢献事業であることを認識していくことが必要と感じました。
- 40 修羅場を経験したものとしては、貴重な活動と感じました。ケースメソッドに関する活動をどんどん推進してください。
- 41 昨年度からマネジメント部門の部署となり、部署として保有する種々のノウハウについて吸収に苦慮しているところもあります。今回の建設ケースメソッドの取り組みをご講義いただき、知恵の共有化と目的達成と課題解決のためのマネジメント力の向上に活用していきたいと感じました。本日はありがとうございました。
- 42 小学校高学年から、目的持って参加し、仲間と協力して目的達成のプロセス学習が必要である。
- 43 Q4の補足ですが、コロナ禍のため、WEB希望としましたが、本来は会場参加で議論することが参加社にとっては有効な研修のように感じます。ただし、多くの人にも聴いてもらう（情報共有）にはWEBは有効な手段です。
- 44 上記Q4の模擬授業を任意の日・時間帯に視聴出来れば有難いです。
- 45 ケースメソッドを通じて、疑似体験や災害対応能力を付けることは、これからの技術者にとって必須のスキルになると思いました。私の専門は上水道ですが、災害だったり、テロだったり、危機管理マニュアルの作成等に関わる機会もあるのですが、今まで以上に、ケースメソッドの機会を増やしていった方がいいと思いました。
- 46 NEXCO東日本様の発表を拝聴した際に感じたことですが、冒頭から「3K」丸出しの過去について、あっけらかんに述べられたことが興味を持ちました。